



2017年10月24日

建設技術展 2017 近畿へ出展します

青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：上野康信）は、「ええもん使こて、ええもん創ろ！」をテーマに開催される「建設技術展 2017 近畿」へ出展いたします。

「建設技術展 2017 近畿」は、民間企業が開発した新技術を紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の積極的な活用を促すことを目的としています。

なお、当社の出展内容は以下のとおりです。

出展内容 : ①摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法

②制震ブレースを用いた耐震補強工法

③無人化施工

※1 出展する工法の詳細は次ページに記載のとおりです。

※2 出展ブース番号は「防-10」です。

< 建設技術展 2017 近畿 概要 >

開催日時 : 2017年10月25日(水)～26日(木)

開催会場 : マイドームおおさか  
大阪府中央区本町橋2-5

主催 : 株式会社 日刊建設工業新聞社  
一般社団法人 近畿建設協会

公式HP : <http://www.kyokai-kinki.or.jp/kengi2017/top.html>

※ 1 工法詳細

①摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法	出展内容
	<p>当社独自の「<b>ダイス・ロッド式摩擦ダンパー</b>」を用いて、既設橋梁の耐震性を向上させる技術です。</p> <p>近年、地震直後における公共インフラの機能維持が課題となっています。当社は、既設橋梁の支承部に「<b>ダイス・ロッド式摩擦ダンパー</b>」を設置することで耐震性能を向上させ、地震直後も交通機能を維持できる耐震補強工法を、首都高速道路㈱と共同開発しました。</p>
②制震ブレースを用いた耐震補強工法	出展内容
	<p><b>建物を使いながら補強工事が可能な工法です。</b></p> <p>本工法は、制震ブレースを建物外部に取り付けるため、建物を使いながらの補強工事が可能です。</p> <p>制震ブレースの外観はスリムであるため、採光や通風への影響は小さく、建物外装と合わせた塗装を施すことで建物と一体化したデザインとなります。また、内装やサッシの解体・復旧が不要であるため、廃棄物の発生を抑えた環境にやさしい工法です。</p>
③無人化施工	出展内容
	<p><b>建設機械作業を無線遠隔操作によって施工する技術です。</b></p> <p>人が立入ることができない危険地域の施工で採用され、情報化施工技術の発展により、数十kmの超長距離無人化施工も可能です。これまでに雲仙普賢岳、桜島、樽前山を初め全国70件以上の実績があります。</p>

以上